

お得意様 各位

メンテナンスマニュアルのご利用について

○本メンテナンスマニュアルを利用しての修理や調整に伴う事故や破損、またはそれに伴う損害請求や第三者からの賠償請求については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

○このメンテナンスマニュアルは難易度の順に☆、☆☆、☆☆☆に区分されており、☆の数が多いほど、難易度が高くなります。難易度を参考にしながら、無理な修理を行わないようご注意ください。

○このメンテナンスマニュアルに記載の内容は、すべて株式会社ニチベいの該当商品についてのものです。他社商品のメンテナンスには使用できません。

○メンテナンスに必要な部品は、弊社製品を使用してください。



高さ調整方法

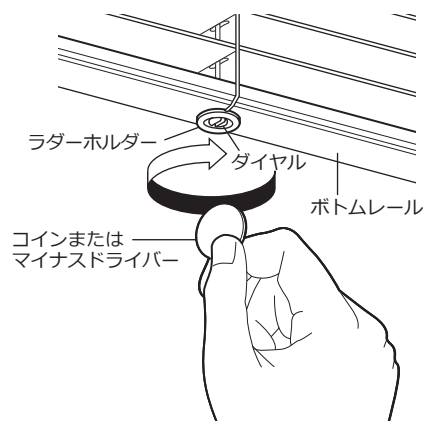
- 用意する部品：-----
- 用意する道具：コインまたはマイナスドライバー

ラダーコード場合

- ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等に当たる場合、ブラインドの高さを短く微調整できます。
- 高さ調整は昇降コード位置にあるダイヤル付きのラダーホルダーで行います。

【クレール ループコード式の場合】

- ラダーホルダーのダイヤルにコインもしくはマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に回転させるとブラインドの高さを短くできます。
※ダイヤル 1/4 回転で約 6mm 調整できます。
※調整の際は、ダイヤル付きのラダーホルダーを全て同回転数で調整してください。
- 調整後に戻す場合は、ダイヤルを逆方向に 90 度回転させ、ラダーコードを引き出します。これを 90 度毎に行い戻してください。

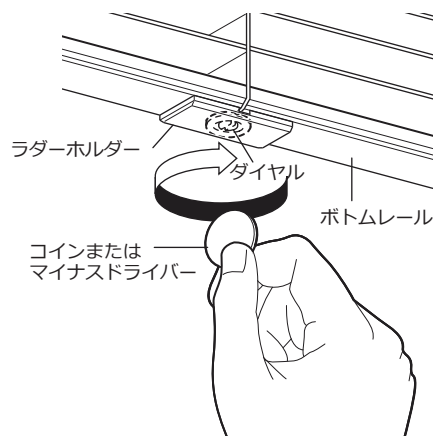
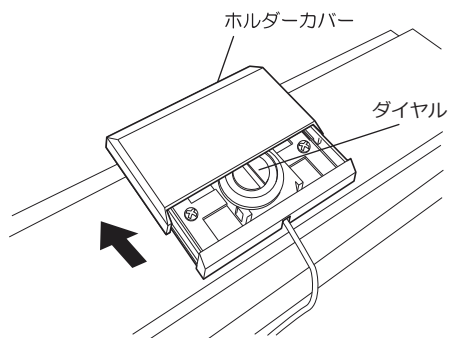


ご注意

ラダーコード最下段の横糸をハサミ等でカットすることで約 30mm まで短く調整できます。
但し、ラダーコードの横糸をカットすると元の高さに戻せなくなりますのでご注意ください。

【クレールコード式／クレールグランツ／クレールタッチ／クレールグランツタッチの場合】

- ① ボトムレール底面のホルダーカバーをスライドさせ取り外してください。
- ② ラダーホルダーのダイヤルにコインもしくはマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に回転させるとブラインドの高さを短くできます。
※ダイヤル 1/4 回転で約 6mm 調整できます。
※調整の際は、ダイヤル付を全て同回転数で調整してください。
※調整後に戻す場合は、ダイヤルを逆方向に 90 度回転させ、ラダーコードを引き出します。これを 90 度毎に行い戻してください。

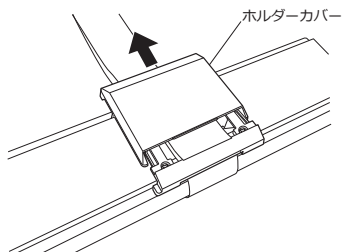


ご注意

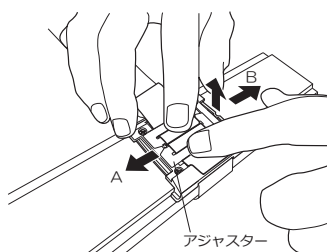
ラダーコード最下段の横糸をハサミ等でカットすることで約 30mm まで短く調整できます。
但し、ラダーコードの横糸をカットすると元の高さに戻せなくなりますのでご注意ください。

ラダーテープ場合 ※クレールグランツはラダーコードのみとなります。

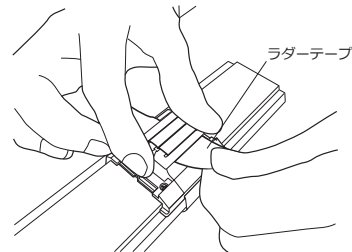
- ① ホルダーカバーを矢印の方向にスライドさせ取外してください。



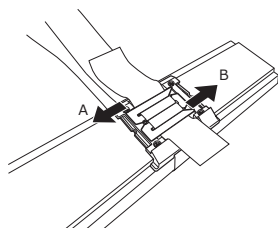
- ② ホルダーケースからアジャスターを矢印の A 方向（スラット幅 35mm の場合は B 方向）に押し込みながら上に引き上げ、取り出してください。



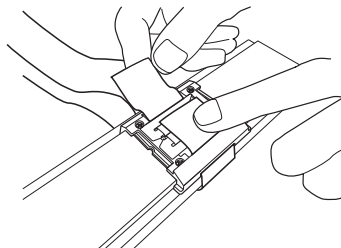
- ③ ラダーテープ両端を調整したい分を均等に引き出し、高さ調整してください。



- ④ ホルダーケースにアジャスターを A、B（スラット幅 35mm の場合は B、A）の順に差込み固定してください。



- ⑤ 余ったラダーテープを手前、奥の順に重ねて収納してください。



- ⑥ ホルダーカバーを矢印の方向から差込み、隙間の無いように固定してください。

